

校舎で子育てする鳥たち

風間 美穂

岸和田市内の学校へおじゃますると、いろいろな鳥の巣を見つけることができます。これは、自然が豊かな山間部や丘陵地部だけではなく、まちなかの学校でも同じことがいえます。まちなかにすむ鳥にとって、学校は子育て環境を提供してくれる、数すくない場所なのです。

基本的に鳥の巣は、親鳥が子育てをするために作られる一時的なものです。子育て時期以外の巣の中に鳥はいません。しかし、巣は鳥の情報の宝庫です。可能でしたら、ぜひ教材として活用されることをおすすめします。巣の標本のつくりかたなど、教材にする方法に興味のある方は、ご連絡ください。

学校内で見つかる鳥の巣には、建物のなかにあるものと、校庭の樹木に作られているものがあります。今回は、学校管理上ありがたくないと思われる、建物のなかにつくっているものを紹介しましょう（表 1）。

建物のすき間や軒下でよく見つかる、枝を折って雑に積み重ねたような形をしたのは、ハトのなかまのドバトの巣です。岸和田市内で子育てをする鳥の多くは、子育て期間が春から夏に限られていますが、ドバトはほぼ 1 年中、何度もくりかえして子育てするので、冬でも巣のなかに卵やヒナがいることがあります。以前は、こういう形状で建物のなかにあるものは、ドバトの巣と決めることができたのですが、最近、本来樹上に巣をつくるはずのキジバトのなかにも建物のなかに巣をつくりだすものが出て、しかもドバトとおなじくほぼ 1 年中、何度も子育てをするので、ややこしくなっています。

建物の壁の穴やすき

表 1. 岸和田市内の学校校舎に巣をかけたことのある鳥の繁殖の情報（和田，2003 をもとに作成）

種名	営巣場所	産卵数	抱卵日数	育雛日数
ドバト	すき間	1～2	約 16 日	28～35 日
キジバト	棚状の場所（本来は樹上）	1～2	15～16 日	15～17 日
ツバメ	天井付近の壁	3～7	13～18 日	17～24 日
コシアカツバメ	天井付近の壁	4～6	19～20 日	20～31 日
ハクセキレイ	すき間や棚状の場所	4～6	12～13 日	14～15 日
セグロセキレイ	すき間や棚状の場所	4～6	11～13 日	13～15 日
イソヒヨドリ	すき間	4～6	約 14 日	約 20 日
シジュウカラ	穴	7～10	11～13 日	16～22 日
スズメ	すき間	4～8	11～14 日	13～14 日
ムクドリ	すき間	4～9	11～13 日	19～23 日

かい草や羽毛が使われています。この形の巣は、卵がかえって、チーチーというヒナの鳴き声が聞こえてきてはじめて、巣の存在が分かることが多いようです。

2005 年ごろからは、イソヒヨドリという、オスがよい声で鳴く青い鳥が、牛滝川沿いにある学校の校舎内に巣をつくっているのを見るようになりました。この鳥の巣も、校舎のすき間を利用してつくられます。これ以外にも、ハクセキレイやセグロセキレイなど、すき間に巣をつくる可能性のある鳥は何種類かいます。

建物の入り口にツバメの巣がつくられている学校もあります。山手には、ツバメの巣をとっくり型にしてはりつけたような、コシアカツバメの巣がある学校もあります（図 1）。コシアカツバメの巣は最近、岸和田市内ではみかけるのがむずかしくなりました。

さて、建物内に巣をつくる鳥のことで、学校からもっともよく受ける質問は、「どのくらい我慢すれば巣から鳥がいなくなりますか？」というものです。目安となる表を載せておきますので、参考にしてください（表 1）。

鳥の巣があると、下にはいろいろなものが落ちてきます。フンや巣の材料、食べこぼしたエサ、あげくのはてには足をふみはずしたヒナまでが……。また、巣にはダニなどの動物が発生することも少なくありません。ツバメなどを除いた多くの鳥が、1 回使った巣を二度と利用しないのはそのためです。

もし、巣が迷惑な場所につくられていたら、できれば巣をつくっている途中、おそくとも卵を産む前には撤去してあげてください。鳥にとって巣づくりや産卵は、たいへんなエネルギーを要するものです。早く追い払えば追い払うほど、鳥にとってのダメージが少なくなります。しかし、見つかった時点でもう卵をあたためはじめていたら、できればヒナが巣立つまで見守ってやってください。多くの鳥は半月から 1 ヶ月でヒナが巣立ちます。

ヒナが巣立ったら巣を取りのぞいて掃除し、二度とやっこないよう、その場所をふさいでしまうと、次からやっけることはなくなるでしょう。



図 1. コシアカツバメの巣

（かざまみほ：自然資料館学芸員）

新発見！岸和田の鉄砲

山中 吾朗

昨年末、岸和田で製造された鉄砲が初めて発見されたとの新聞記事が掲載されました。発見したのは鉄砲研究家として著名な大阪市在住の澤田平氏(堺鉄砲研究会代表)です。鉄砲(火縄銃)の銃身には、「泉岸住佐藤義定作」と銘が刻まれており、岸和田に住む鉄砲師佐藤義定が製造した鉄砲であることがわかりました。岸和田の城下町には「鉄砲町」「鍛冶屋町」など鉄砲鍛冶の存在を伺わせる古い地名があり、鉄砲鍛冶が住んでいたであろうことは以前から想像されましたが、岸和田で製造された鉄砲の実物が確認されたのは初めてのことでした。



記事になる数ヶ月前、澤田氏から連絡があり、銘にある「佐藤義定」の名前を聞いた私は、すぐにある鉄砲師の名前が思い出されました。それは、明治元年に岸和田藩士に暗殺された佐藤文吉という人物です。

佐藤文吉は、岸和田藩から西洋式短銃の納入を命じられましたが、文吉が納入した短銃は、長銃の銃身を切り縮めただけの実用に耐えない粗悪品であることが判明し、一部の藩士が文吉を呼び出して問い詰めたところ、文吉も不正を認めました。激高した藩士は文吉を殺害し、城下はずれの三味堂(野村墓地)で文吉の遺体を焼き、事件をやむやにしようとした。しかし、後日、文吉の弟子が明治政府に訴え出たために事件は政府の裁定にかかり、文吉を殺害した藩士やその上司にあたる者たちも罪を問われ、禁錮などの刑に処されました。



この鉄砲師殺害事件は、明治初期の岸和田藩にとっては非常に大きな事件でした。明治維新の頃、岸和田藩では次期藩主をめぐって藩内が二派に分かれて争うお家騒動が occurred。一方は前藩主岡部長^{ながゆき}発の子長^{ながもと}職を支持し、もう一方は現藩主長^{ながひろ}寛の子長^{ながよし}美を次期藩主に推しました。長美支持派は年寄岡部^{うづき}結城・儒者相馬^{さきま}九方を中心とする者たち、長職支持派は重臣降^{ふる}屋宗兵衛^{そうべい}を中心とする者たちで義党派と称しました。騒動はさらに藩が幕府・朝廷のいずれの側につくのかという政治姿勢の対立にもかかわりました。明治元(1868)年1月、戊辰戦争が始まると、藩は朝廷側につくことを表明しますが、義党派はこれを不満とし、両派の抗争はますます激しくなりました。同年5月、両派から京都の新政府に対してそれぞれ相手方の非を訴え、政府の裁定は岡部結城・相馬九方らを有罪とし、義党派の降屋宗兵衛らは無罪となりました。こうして降屋ら義党派は藩政の実権を掌握し、同年12月に岡部長^{ながゆき}職が最後の藩主に就任しました。

しかし、明治3年になって義党派藩士が起こした鉄砲師殺害事件などが明らかになり、同年7月、降屋ら義党派藩士11名が禁錮刑などに処され、義党派は失脚しました。このように、鉄砲師文吉殺害事件は、義党派が失脚するきっかけとなった事件だったのです。

澤田氏からは、実物の所在は確認できないものの、他に「佐藤文吉郎義定／和泉岸和田住」銘のある嘉永4(1851)年に作られた鉄砲が存在することをご教示いただきました。佐藤義定は文吉郎とも名乗る人物だったのです。そうすると義党派藩士に殺害された佐藤文吉と、鉄砲に銘を刻んだ佐藤義定とは同一人物であった可能性も十分にあります。このように、今回発見された鉄砲は、幕末維新期の岸和田藩の歴史を物語る重要な証人だともいえます。岸和田城では、3月9日(水)から5月8日(日)まで新発見の岸和田鉄砲を初公開いたします。

(やまなかごろう：郷土文化室)

information

■岸和田城の展示案内■

企画展「工芸の美―甲冑・刀剣・馬具―」

特別陳列「新発見！岸和田の鉄砲」

- ・会 期：3月9日(水)～5月8日(日)
- ・会 場：岸和田城天守閣2階展示室
- ・入場料：大人 300 円 中学生以下無料
※お城まつり期間中（4月1日～15日）は午後8時まで
- ・時 間：午前10時～午後5時（入場は4時まで）
- ・休場日：月曜日(3月21日、4月4日、11日は開場)

【きしわだ自然友の会 会員募集】

きしわだ自然友の会では2011年度の会員を募集しております。会員になっていただくと友の会のイベントへの参加、会誌メランジェの購読ができるほか、自然資料館のミュージアムショップで商品を1割引で購入できるなどの特典があります。友の会のイベントは化石や地層、鉱物、動植物の観察会や室内実習が豊富にあります。

ご入会いただく場合は、郵便振替払込書にお名前、住所、電話番号ご記入の上、年会費を払い込んでください。友の会のWebサイト（払込は郵便局）や自然資料館、行事の受付でも手続きすることができます。

年会費は個人会員 2,000 円です。ご家族全員でご入会なら家族会員 3,000 円がお得です。

■きしわだ自然資料館の展示およびイベント案内■

第15回ネイチャーフォト写真展

毎年恒例の写真展です。ふだんは気がつかないような自然の姿が見られるかも。入場は無料です。

- ・会 期：2011年4月10日（日）～5月7日（日）
（毎週月曜日と4月30日は休館日です）
- ・会 場：自然資料館1階ホール
- ・入場料：無料
- ・時 間：午前10時～午後5時
（5月7日は午前12時まで）
- ・休場日：月曜日（祝日は開館）、4月30日

池めぐり土曜講座

今年は1年を通じ、岸和田市内にあるたくさんの池を巡って、植物や鳥などいろいろな生物たちの観察を行います。

- ・日 時：2011年4月9日（土）午後1時35分～4時30分ごろ（雨天中止）
- ・場 所：蜻蛉池公園周辺
- ・講 師：岡本素治氏（自然資料館館長）ほか
- ・対 象：4歳以上（小学生以下は保護者同伴）
- ・費 用：1人50円
- ・申 込：不要。当日午後1時35分に南海ウイングバス「蜻蛉池公園前」バス停に集合してください。前日夕方5時に気象庁が発表する天気予報で、当日午後の降水確率が60 %以上の場合は中止します。

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方は忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしております。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館
TEL: (072) 423- 8100 FAX : (072) 423- 8101
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp
自然資料館ホームページ URL:
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>
Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し、検索すれば、簡単です)